

ブリッジ連続講座 Vol.11 「塗」～塗料の歴史と最新のトレンド～

セミナー概要

最近では多くの機能まで持つ塗料の歴史、ご存知でしょうか？ それを知るための鍵が明治記念館に今も保存されています。塗料をより深く知るために今回は明治記念館を見学し歴史を見つめ直すと共に、最新技術やトレンドまでを学び今後の塗装の可能性を探ります。

プレゼンテーション

塗料は建築工事の最終仕上げ工程として、建物の意匠とその耐久性発現などの役割を担う重要な材料です。しかし建物の立地環境や塗装する素材との相性、要求される耐久性などに応じた塗装仕様設計が必要であり、また、塗装後硬化乾燥することによって初めて機能を発揮する半製品であるが故の監理の難しさもあり、公共建築工事仕様書や日本建築学会仕様書などでもその解説に大きなページ数を割くほど、内容は奥深いものです。

さらに最近ではJIS等にまだ規定されていない高耐久性・高意匠性の塗料が開発され、民間工事などで採用が始まりつつあります。

本セミナーでは素材別の塗装仕様選択やトラブル事例と対策など皆様の日頃の設計監理業務に役立つ塗料・塗装知識、さらには無機系塗料や意匠性内装用塗料など最新の塗料トレンドを解説したいと思います。

日本ペイント・明治記念館見学

1853年、4隻の木アールで塗装された黒船の入港によって我が国近代化の幕が開きました。1880年（明治13年）には塗料の国産化に成功し、その翌年に海軍の専属工場として光明社（現・日本ペイント）が産声を上げました。日本ペイント・明治記念館は明治42年（1909年）に建設された我が国最古の煉瓦建て油ワニス工場で、品川区内で最も古い洋式建物であり、明治の面影を残す建物として品川区教育委員会より保存の要請を受けました。当時の塗料製造機械を中心に、その製造工程や用具、現代までの塗料製造の歴史などをご覧いただけるスペースです。

日時 平成28年3月15日（火）15:00～17:30（受付14:30～）

会場 日本ペイント東京事業所 センターAホール

東京都品川区南品川4-1-15

日本ペイントホールディングス株式会社

定員 50名（定員になり次第締切）

CPD 2単位

参加費 正・準会員 1,000円

一般 2,000円

主催 一般社団法人 東京建築士会

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

企画 一般社団法人 東京建築士会 青年委員会

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 企画委員会 景観部会



築107年を迎える日本ペイント・明治記念館



日本ペイント・明治記念館内の展示



センターAホールは
こちらです

- JR 京浜東北線「大井町駅」
東口より徒歩10分
- 京浜急行「新馬場駅」
南口より徒歩5分

申込方法

専用申込フォームにて、必要事項を入力ください。

【専用申込フォーム】

<http://koshukai.jp/2016college/>

個人情報の取り扱い：本参加申込に際し頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び、東京建築士会が開催する他のイベント案内・照会の為に利用することがあります。

お問い合わせ先

〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12 オフィスタワーZ棟4F

TEL 03-3536-7711 FAX 03-3536-7712

一般社団法人

東京建築士会

TOKYO SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS